

**ひまわり油 きれいに完成****横手・浅舞小 児童、あす朝市で販売**

ひまわり油の瓶にラベルを貼り付ける児童

横手市の浅舞小学校（小坂靖尚校長）は14日、同市平鹿町の浅舞朝市で、児童が育てたヒマワリの種で作ったひまわり油を販売する。店頭立つ児童たちは「買う人が笑顔のなるよう気持ちを込めて接客したい」と張り切っている。

同校は「ひまわりプロジェクト」と銘打ち、2012年から地域の協力を得て栽培、加工、販売に取り組んでいる。24年度は5月に校舎近くの畑7.5㍍へ種をまいた。

5年生36人を中心に水やりや草取りを行い、8月に刈り取った。地元の協力団体が育て分も合わせ、種106kgの加工を小坂町の業者に委託した。

200ミリットル入りの瓶で106本分のひまわり油が出来上がり、今月10日には5年生がオリジナルラベルを貼り付けた。ラベルは6種類のデザインを作成し、「浅舞小全員の思いが込められています。たくさんのご協力を頂き、おいしく、きれいで栄養満点なひまわり油が完成しました」などと書き込んだ。

神谷映さんは「販売では、自分たちで育てたヒマワリの種で作る、いろいろな料理のアレンジに使えることなど、しっかり商品紹介して手に取ってもらえるようにしたい」。小坂校長は「多くの人の協力に感謝しながら、ものを作り、売ることの大変さ、喜びを実感してほしい」と語った。

（藤田尚）

（令和7年2月13日（木）秋田魁新聞より一部抜粋）



浅舞朝市で販売されるひまわり油